

社会資本総合整備計画(第4回変更)

射水市における安全・安心で快適な居住環境の創出

とやま いみず
富山県 射水市

平成29年12月15日

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

平成29年12月15日

計画の名称	1 射水市における安全・安心で快適な居住環境の創出			変更回数	4 重点配分対象の該当
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)	交付対象	射水市		
計画の目標					

射水市は、富山県のほぼ中央に位置し、平成17年11月に新湊市と射水郡の全町村（小杉町、大門町、大島町、下村）が合併して誕生した市である。大門・大島地区は、北陸本線の越中大門駅を中心とした一体性のある市街地を形成している地区である。また、地区北東部に位置する大島中央公園東側隣接地（グリーンスクエア）では、射水市発足以来の分庁方式による行政機能を集約した新庁舎建設が計画されており、今後、この地区の拠点性向上が予想されることから、新庁舎周辺の公共施設を活用して、交流の促進を図る。
 平成27年春の北陸新幹線開業と合わせた並行在来線（北陸本線）第三セクター化に伴い、鉄道利用環境の変化による越中大門駅利用者数の減少が懸念されていることから、都市計画道路駅前線を整備することにより、同駅へのアクセス改善及び利便性の向上を図る。
 東日本大震災発生後、市の防災機能向上に対する市民の要望は高まっており、災害に強いまちづくりを実現するために、新庁舎の防災拠点化及びデジタル防災行政無線網の整備、市道の狭隘箇所等の改善等を行うことにより、市民が安全・安心で快適に暮らせる居住環境の創出を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路駅前線の平日昼間12時間自動車交通量を2,804台/12時間(H25)から3,000台/12時間(H30)へ7%増加 市内のデジタル防災行政無線の面積カバー率を24%（H25）から85%（H30）に増加
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)	
都市計画道路駅前線の平日昼間12時間自動車交通量 (交通量調査による観測)	2,804台/12h (H25)		3,000台/12h (7%増加)	
市内のデジタル防災行政無線のカバー率 (デジタル防災行政無線の整備シミュレーションデータよりカバー面積を算出)(%)	24% (H25)	85%	85%	カバー率 = カバー面積 / 市域面積 × 100%

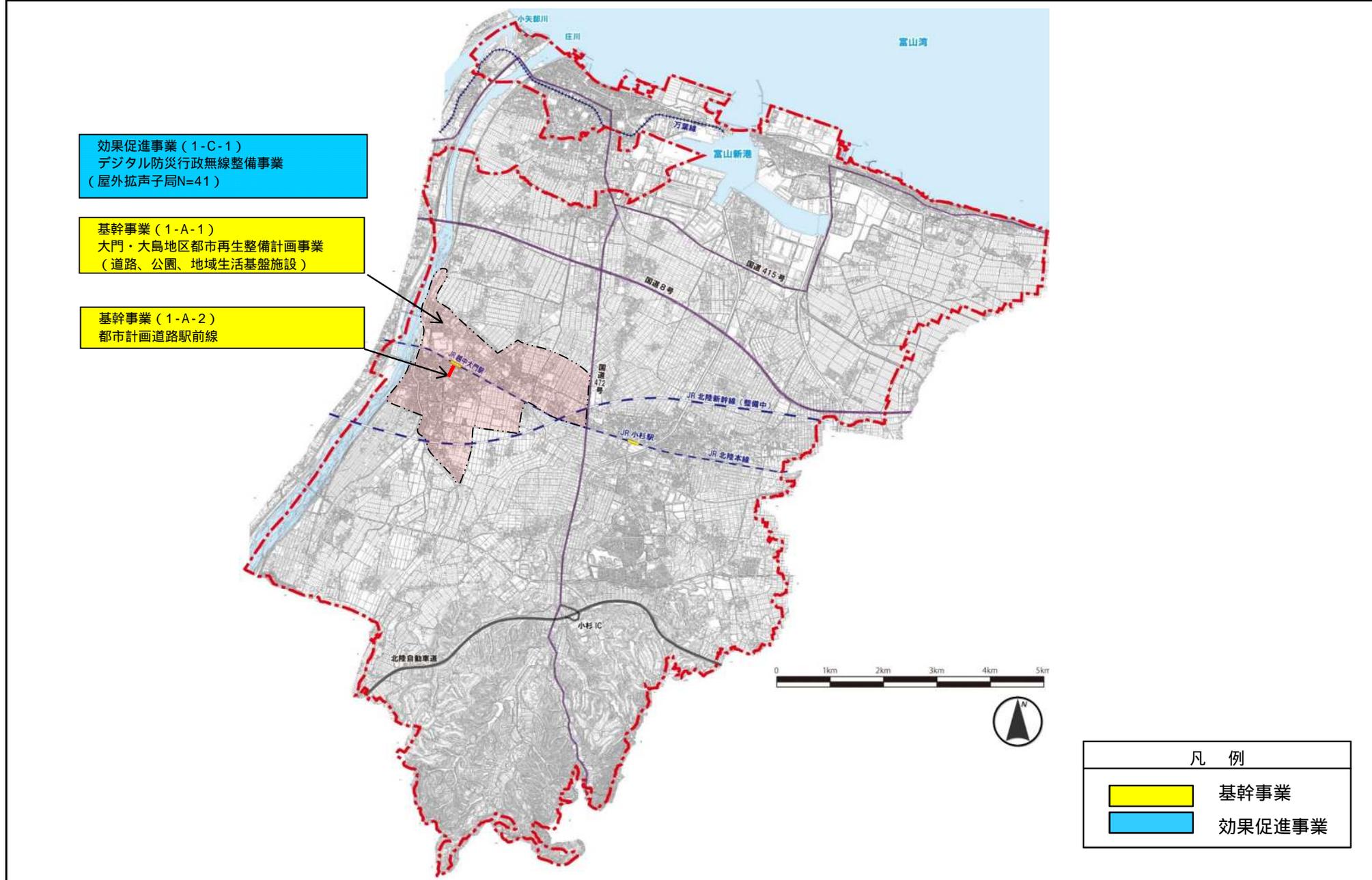
全体事業費	合計 (A + B + C)	1,162百万円	A	934百万円 (うち提案事業分4百万円)	B	0百万円	C	228百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案事業分) + C) / (A + B + C)	20.0%
-------	-------------------	----------	---	-------------------------	---	------	---	--------	--	-------

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
1-A-1	都市再生	一般	射水市	直接	射水市	大門・大島地区都市再生整備計画事業	道路、公園整備事業等 643ha	射水市						785	-	-	-
1-A-2	街路	一般	射水市	直接	射水市	都市計画道路駅前線	L=252m, W=20m, 駅前広場	射水市						149	-	-	-
合計													934	-	-	-	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
-	-	-	-	-	-	-	-	-						0	-	-	-
合計													0	-	-	-	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30				
1-C-1	施設整備	一般	射水市	直接	射水市	デジタル防災行政無線整備事業(都市再生整備計画の区域外)	屋外拡声子局N=36	射水市						228	-		
合計													228	-			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
1-C-1	1-A-1と一体的に整備することにより、地区内の災害発生時の防災機能(避難能力)が強化される。																

(参考様式2) 参考図面(社会資本整備総合交付金)

計画の名称	1 射水市における安全・安心で快適な居住環境の創出	変更回数	4
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)	交付対象	射水市



都市再生整備計画(第4回変更)

だいもん おおしま ちく
大門・大島地区

とやまけん いみずし
富山県 射水市

平成29年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	とやまけん 富山県	市町村名	いみずし 射水市	地区名	たいもん、おおしま 大門・大島地区	面積	643 ha
計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度	交付期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度				

目標

【大目標】 交流により心がふれあう、安全・安心で快適な居住環境を創出するまちづくり

目標 : 地区の交通拠点である越中大門駅周辺の利便性向上
 目標 : 公共公益施設を活用した交流の促進
 目標 : 地区住民が安心して暮らせるまちづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

射水市は、富山県のほぼ中央に位置している人口約9万3千人の市で、平成17年11月に新湊市と射水郡の全町村(小杉町、大門町、大島町、下村)が合併して誕生した市である。大門・大島地区は、北陸本線の越中大門駅を中心とした一体性のある市街地を形成している地区である。
 地区北東部には、多目的グラウンド等の運動施設を備えた大島中央公園や、弓道場、ヨング大島体育館などの体育施設、大島絵本館が整備されており、市民の憩いの場となっている。また、大島中央公園東側隣接地(グリーンスクエア)では、射水市発足以来の分庁方式による行政機能を集約した新庁舎建設が計画されている。新庁舎建設に伴い、今後、地区の拠点性向上が予想されることから、新庁舎周辺の公共公益施設を活用して、交流を促進することが求められている。なお、新庁舎建設の基本構想作成にあたっては、これまで有識者や地元代表らが組織した射水市新庁舎整備基本構想検討委員会を6回開催しており、庁舎の機能や規模、大島中央公園周辺の既存施設との空間構成などについて議論を重ねてきている。
 今後、地区を取り巻く環境の変化として、平成27年春の北陸新幹線開業と合わせた並行在来線(北陸本線)第三セクター化に伴い、鉄道利用環境の変化による越中大門駅利用者数の減少が懸念されていることから、同駅周辺の利便性向上及び利用促進が求められている。
 また、東日本大震災発生後、市の防災機能向上に対する市民の要望は高まっており、市では、これまで津波ハザードマップの作成や自主防災組織の育成・支援などの取組みを進めてきている。しかしながら、当地区では防災行政無線の未整備箇所があるなど防災機能の強化が急がれており、新庁舎の防災拠点化及びデジタル防災行政無線網の整備や狭隘な道路の改善等を行い、災害に強いまちづくりを推進することが求められている。

課題

1. 越中大門駅周辺の利便性向上
 北陸新幹線開業と合わせた並行在来線(北陸本線)第三セクター化による影響を見越し、地区の交通拠点である越中大門駅の利便性向上を図ることが課題である。
 2. 公共公益施設を活用した交流の促進
 新庁舎建設を契機に、周辺の公共施設を一体的に整備することにより、地区の拠点性向上が予想され、周辺交通の円滑化やコミュニティの向上、交流促進が課題である。
 3. 安全・安心な居住環境の創出
 狭隘な道路の改善など道路環境を整えるとともに、地区の防災機能を強化することで、地区住民が安全・安心に居住できる環境を創出することが課題である。

将来ビジョン(中長期)

【射水市総合計画】平成20年3月策定
 射水市総合計画では、まちづくりの政策として、快適で利便性の高いまちづくり、快適で住みよいまちづくり、安心して暮らせるまちづくり、が掲げられており、基本計画では、越中大門駅周辺の整備や、都市計画道路の整備促進、歩道設置や交差点改良など道路の利便性・安全性の向上と、公園・緑地のリフレッシュ整備、デジタル方式による防災行政無線の統合整備、統合庁舎建設の検討などがまちづくりの施策として示されている。
 【射水市都市計画マスタープラン】平成22年3月策定
 射水市都市計画マスタープランでは、大門・大島地域の将来像として「交流が盛んな、快適な居住環境と、商・工業が共存できる活力あふれるまち」を掲げており、住みよい快適な都市環境を創出するまちづくり、交流により心がふれあうまちづくり、繁栄する活力あるまちづくりが示されている。また、都市整備の方針として、大島中央公園の施設・設備の充実、市街地内の道路の安全性確保、都市計画道路駅前線の整備促進、越中大門駅の利便性向上と利用促進のための駅周辺整備が示されている。

目標を定量化する指標

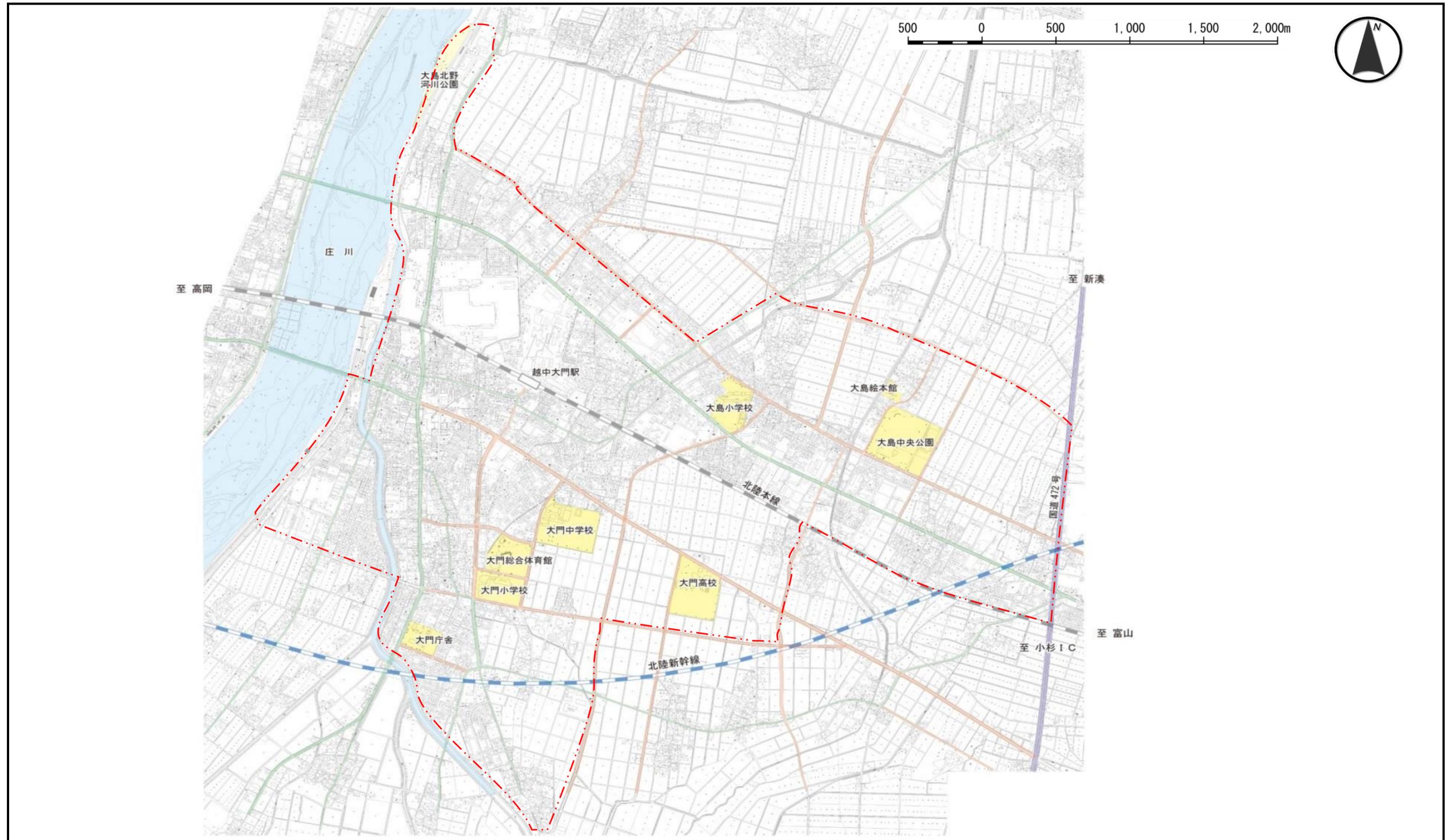
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
				基準年度	目標年度	基準年度	目標年度
越中大門駅の乗降客数	人/年	越中大門駅の乗降客数	地区の交通拠点としての越中大門駅の利便性向上の効果を、駅利用者数の推移により確認する。(目標1に対応)	285,195人/年	H24	290,948人/年	H30
地区内居住人口数	人	地区内の居住人口数	新庁舎を含む公共施設を一体的に整備することにより、地区の拠点性の向上及び交流の促進が図られる効果を、地区内居住人口の推移により確認する。(目標2に対応)	16,534人	H24	16,534人	H30
都市再生整備計画区域内のデジタル防災行政無線のカバー率	%	都市再生整備計画区域におけるデジタル防災行政無線の面積カバー率(面積比率)	デジタル防災行政無線を整備した効果を、災害情報等を伝達できるエリアで確認する。(目標3に対応)	7%	H25	100%	H30

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>目標 地区の交通拠点である越中大門駅周辺の利便性向上</p> <p>【整備方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越中大門駅へ連絡する道路を整備することにより、同駅へのアクセスを改善し、利便性を向上させる。また、沿道に立地する公園を再整備することによって、憩いの空間を提供する。 	<p>基幹事業：市道雄神町停車場線側溝改修(道路)</p> <p>基幹事業：大島南部公園再整備(公園)</p>
<p>目標 公共公益施設を活用した交流の促進</p> <p>【整備方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎に隣接する交差点を改良することにより、想定される多数の来庁者が安全で円滑に通行できる環境を整える。 ・大島中央公園を再整備することにより、地区の身近なレクリエーション拠点として、機能向上を図る。 	<p>基幹事業：市道大島北野鷺塚線外1路線交差点改良(道路)</p> <p>基幹事業：大島中央公園再整備(公園)</p>
<p>目標 地区住民が安心して暮らせるまちづくり</p> <p>【整備方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の狭隘な道路の側溝を改修することにより、安全で円滑な交通環境を整える。 <p>・また、災害発生時などに必要な緊急情報を広く市民に伝達できるデジタル防災行政無線を市内で一体的に整備することにより、地区住民が安心して暮らせる環境を提供する。</p>	<p>基幹事業：市道雄神町停車場線側溝改修(道路)</p> <p>基幹事業：市道倉町停車場線側溝改修(道路)</p> <p>基幹事業：市道柳町大門本江線側溝改修(道路)</p> <p>基幹事業：市道北高木新町線側溝改修(道路)</p> <p>基幹事業：デジタル防災行政無線整備(地域生活基盤施設)</p>
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

<p>大島・大門地区(富山県射水市)</p>	<p>面積</p>	<p>643 ha</p>	<p>区域 射水市あおば台、赤井、二口、大島北野、北高木、北野、小島、小林、新開発、大門、大門本江、棚田、土合、鳥取、中野、中村、本開発、八塚、若杉の一部</p>
------------------------	-----------	---------------	---



大門・大島地区(富山県射水市) 整備方針概要図

目標	【大目標】 交流により心がふれあふ、安全・安心で快適な居住環境を創出するまちづくり	代表的な指標	越中大門駅の乗降客数 (人/年)	285,195人/年 (H24年度)	290,948人/年 (H30年度)
	目標 : 地区の交通拠点である越中大門駅周辺の利便性向上		地区内居住人口数 (人)	16,534人 (H24年度)	16,534人 (H30年度)
	目標 : 公共公益施設を活用した交流の促進		都市再生整備計画区域内のデジタル防災行政無線のカバー率 (%)	7% (H25年度)	100% (H30年度)
	目標 : 地区住民が安心して暮らせるまちづくり				

